

令和2年3月 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

建物の環境面に関しては、バリアフリーになっていて、トイレも2つ、シャワーも付いている事から様々な事態に対応しやすいとの結果が出た。職員配置については、特に土曜日が積極的に外出活動があるため、職員の増員が求められている。今回、非常勤職員のアンケート結果で、どちらともいえないがいくつか見られた。子どもについての情報は日々伝達しているが、その他の内容で伝達不足が確認出来た。その中でも、非常時の対応や各マニュアルについて把握や周知が足りていない事が問題となった。また、支援スキル向上の為に、内外部の研修を積極的に取り入れてほしいという意見も上がった。

保護者による評価

環境・体制面や支援提供については良い評価を頂くなかで、非常時の対応マニュアルや避難訓練については周知されていないという結果となった。また、保護者会や障がいのない子どもとの関わりについても「どちらともいえない」という評価を多数頂いたが、必要性を感じていないご家庭が多く見られた。



事業所内での分析

まずは、非常時対応の再度確認、見直しをした上で、各ご家庭への周知が必要。支援提供については、ほぼ全体のご家庭にご理解を頂いているが、さらに質の向上を目指すために、スキルアップ目的の内外部研修が必要。

事業所の強み

環境面 ⇒ バリアフリーになっていて、室内も広く、パーテーションもあり子ども達が過ごしやすい環境になっている。
支援提供 ⇒ プログラムの工夫がされていて、子ども達が飽きないように活動を提供している。
保護者との連携 ⇒ コミュニケーションが取れていて、子どもに対する情報共有が出来ている。
職員の情報共有 ⇒ 子どもに対する、支援内容の統一や情報の共有が出来ている。

事業所の改善点

保護者様に対しての非常時対応や各マニュアルの周知が必要。
非常勤職員と情報共有をしていく。

事業所の改善への取り組み

非常時の対応やマニュアルについては、年二回の面談やお便りを通して、保護者様に周知出来るようにしていく。
非常勤職員との情報共有については、ミーティングや内部研修等を定期的に行っていく。